

2018年度 第2四半期決算と 通期業績予想

2018年11月8日
日本軽金属ホールディングス株式会社

目次

1. 2018年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

①2018年度連結業績予想

②3ヶ年計画の進捗と

次期中期経営計画に向けて

目次

1. 2018年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

①2018年度連結業績予想

②3ヶ年計画の進捗と

次期中期経営計画に向けて

第2四半期決算 — 前年同期比

(億円)

	2018/4-9 実績	2017/4-9 実績	増減
売上高	2,453	2,284	+169 (+7.4%)
営業利益	142	141	+1 (+0.4%)
経常利益	147	136	+11 (+8.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	101	87	+14 (+17.0%)

セグメント情報 — 前年同期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2018/4-9 実績	2017/4-9 実績	増減	2018/4-9 実績	2017/4-9 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	600	525	+75 (+14.3%)	56	45	+11 (+24.1%)
板、押出製品	525	519	+6 (+1.2%)	37	48	△11 (△24.6%)
加工製品、 関連事業	863	787	+76 (+9.8%)	46	42	+4 (+11.5%)
箔、粉末製品	465	453	+12 (+2.5%)	19	21	△2 (△9.6%)
管理・共通	—	—	—	△16	△15	△1
合 計	2,453	2,284	+169 (+7.4%)	142	141	+1 (+0.4%)

目次

1. 2018年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

①2018年度連結業績予想

②3ヶ年計画の進捗と

次期中期経営計画に向けて

通期業績予想 — 前期比

(億円)

	2018年度 予想 (10/30)	2017年度 実績	増減
売上高	5,100	4,814	+286 (+5.9%)
営業利益	320	299	+21 (+7.0%)
経常利益	310	295	+15 (+5.0%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	200	180	+20 (+11.0%)
有利子負債	1,380	1,400	△20
D / E レシオ	0.7倍	0.8倍	△0.1p
R O C E	10.8%	10.7%	+0.1p

* 2018年度予想ROE(自己資本利益率): 11.0%

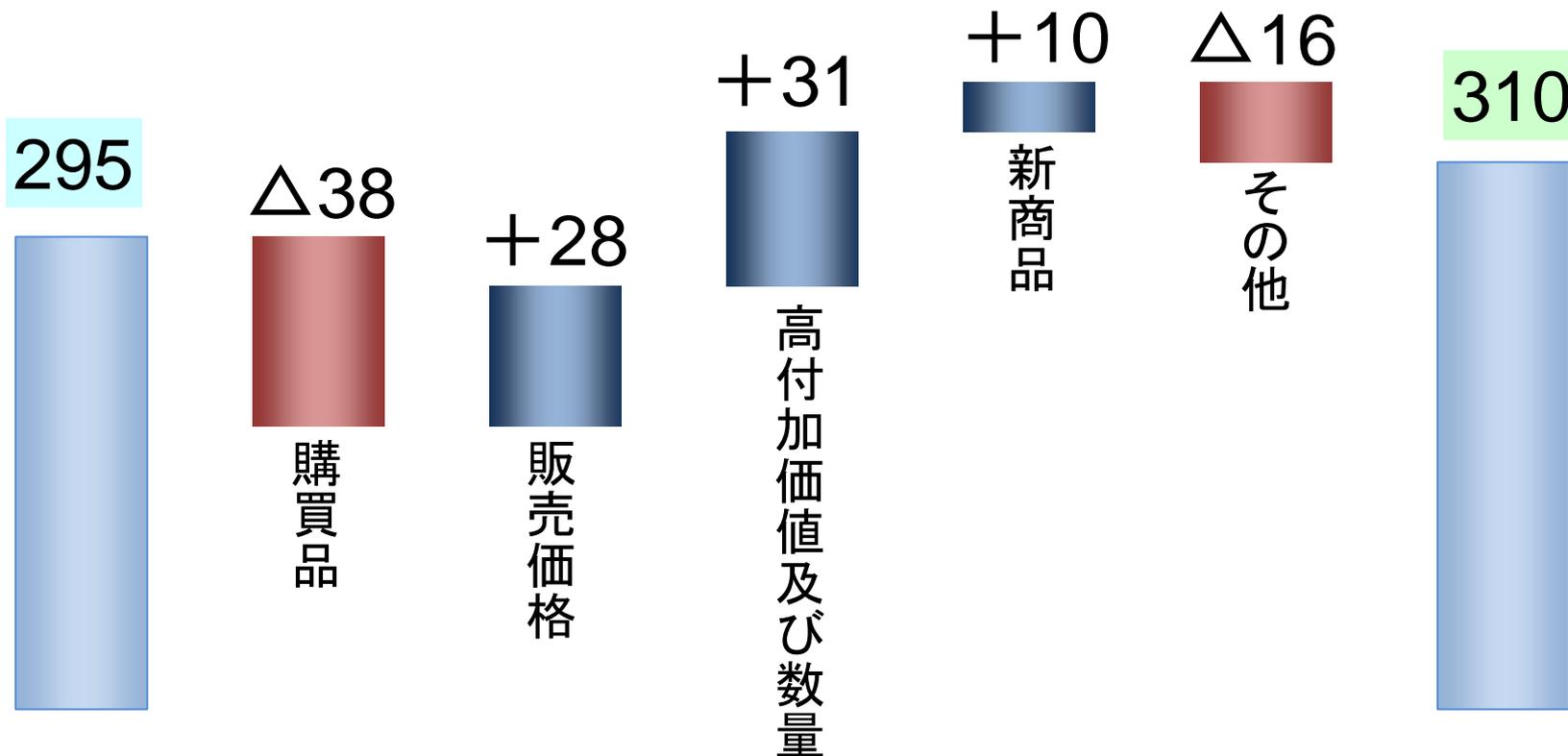
経常利益変化要因 – 前期比

2017年度
実績

+15億円

2018年度
予想 (10/30)

(億円)

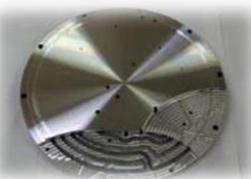


マーケットの要請に対応した能力増強

日本軽金属

概要	名古屋工場 焼鈍炉増設
市場	高付加価値品需要増加 車載電池向け材料等 半導体製造装置関連
稼働	2018年10月
	※2016年9月にも能力増強を実施済

電機・電子分野 他



東洋アルミニウム

概要	日野製造所 窒化アルミ生産ライン増強
特徴	熱伝導率と高い絶縁性
市場	放熱用途での需要旺盛 …LED用放熱基板、IGBT用放熱基板、半導体製造装置等
稼働	2018年7月



マーケットに柔軟に対応する生産拠点

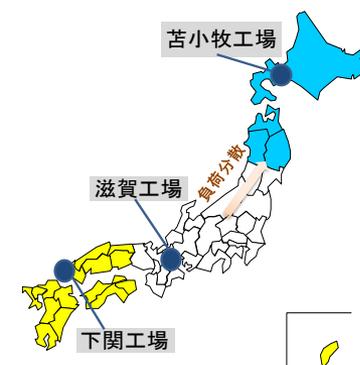
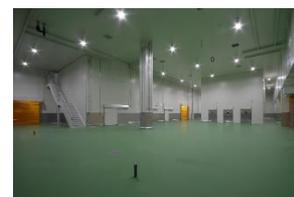
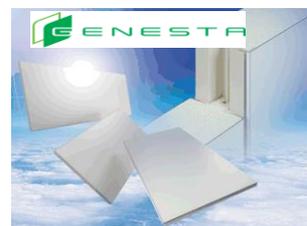
日本フルハーフ

- ・ 厚木再構築は前倒しで完了予定
 - 整流化による生産性向上、納期短縮
 - サービス事業への資源配分
- ・ 排ガス規制に伴う小型車需要増
- ・ 海外事業改善
 - 中国事業は通年黒字化、タイ事業も物件増加で収益改善



日軽パネルシステム

- ・ 需要堅調継続で事業高水準維持
 - 冷凍・冷蔵...HACCPなど
 - クリーンルーム...半導体、医薬
- ・ 苫小牧工場の生産ライン増強完了
- ・ 海外事業改善
 - 物件増加で黒字化達成見込み



目次

1. 2018年度 第2四半期決算

2. 中期経営計画の進捗

①2018年度連結業績予想

②3ヶ年計画の進捗と

次期中期経営計画に向けて

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出

- グループ連携の強みを徹底的に追求した高付加価値を提供
- 顧客視点に基づき、ものづくりに周辺サービスを含めた商品・ビジネス開発

2. 地域別×分野別戦略による事業展開

- 資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別
- ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営

3. 企業体質強化（事業基盤強化）

- グループ連携視点でビジネス創生できる人財の育成
- 課題事業の収益向上

縦串・横串 縦横に駆使した新しい商品例

分野	事業部門	商品
自動車	日本軽金属、日軽金アクト	EV・PHEV向けバッテリー冷却プレート
	日本軽金属、日軽金アクト	LiB材料
輸送	日本フルハーフ、日軽金アクト、ニッケイ・サイアム	10ドアバン、10ドアキット
電機電子 ・情報通信	日本軽金属、東洋アルミニウム	LiB正極材
	日本軽金属、東陽理化学研究所	PC筐体
	日本軽金属、東洋アルミニウム、日軽金アクト、東陽理化学研究所	半導体製造装置関連
	日本軽金属、日軽金アクト、日軽パネルシステム、日軽産業、NLMエカル	データセンター関連
環境・安全 ・エネルギー	日本電極	LiB負極材
	日本軽金属	LiB向け低ソーダアルミナ
	東洋アルミニウム	軽量モジュール
その他	日本軽金属、日軽産業、理研軽金属工業	吸音機能付仕上材
	日本軽金属、日軽パネルシステム	ジェネスタ®不燃
	日軽パネルシステム	医薬・バイオ向け

業界初 音を制するアルミニウム

アルミ屋内用吸音機能付き仕上材・天井材



アルミニウムのみで構成 静寂で快適な音環境が実現

人の話し声や、鉄道・地下鉄騒音に
対して、効果を発揮!!



日本軽金属

理研軽金属

日軽産業

吸音機能形材開発

製品製造

企画・販売・施工

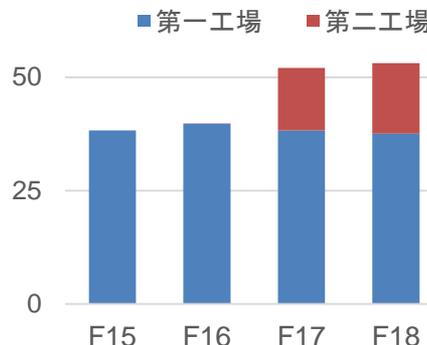
海外拠点の収益拡大

日軽エムシーアルミ タイ第2工場

➤ 拡販とコストダウンで収益力向上

- 小型塊の拡販
- エネルギー原単位改善、材料配合の見直し等

販売量(千t/年)



自動車分野



東洋アルミニウム インド拠点

食品・健康分野他

➤ 汎用塗料向けアルミペーストの生産販売(インド、ASEAN、中東、アフリカ、南米等)

生産開始 2017年12月

➤ Svam Packaging Industries Private Limitedの株式取得(33.4%)

(*Svam社=インド市場における医薬品用包装材料トップシェアメーカー)

株式取得時期 2018年7月



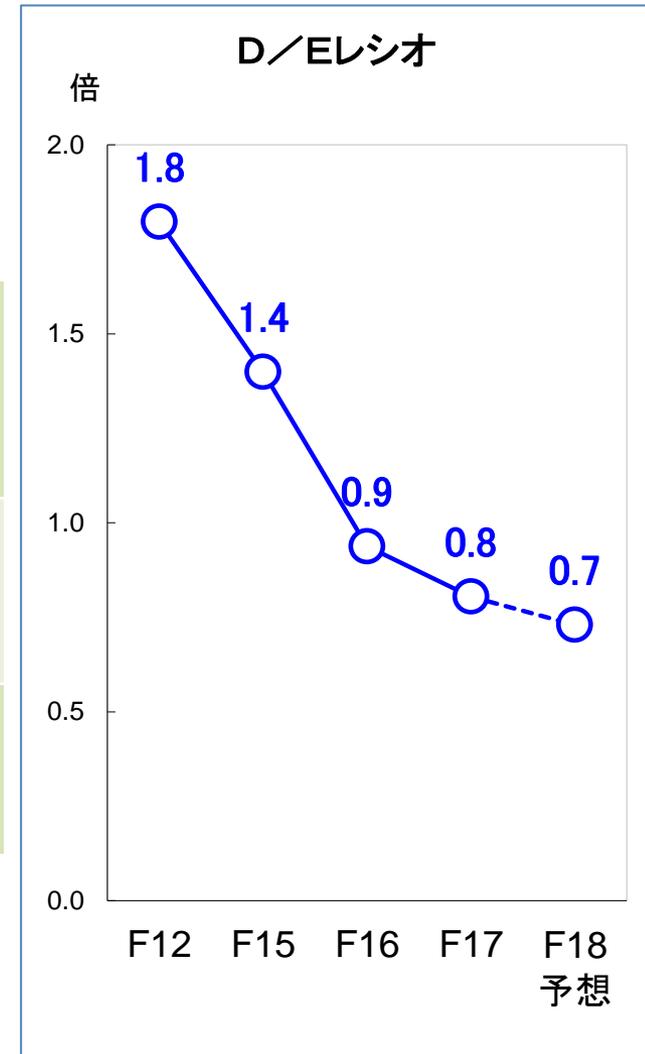
損益指標

(億円)

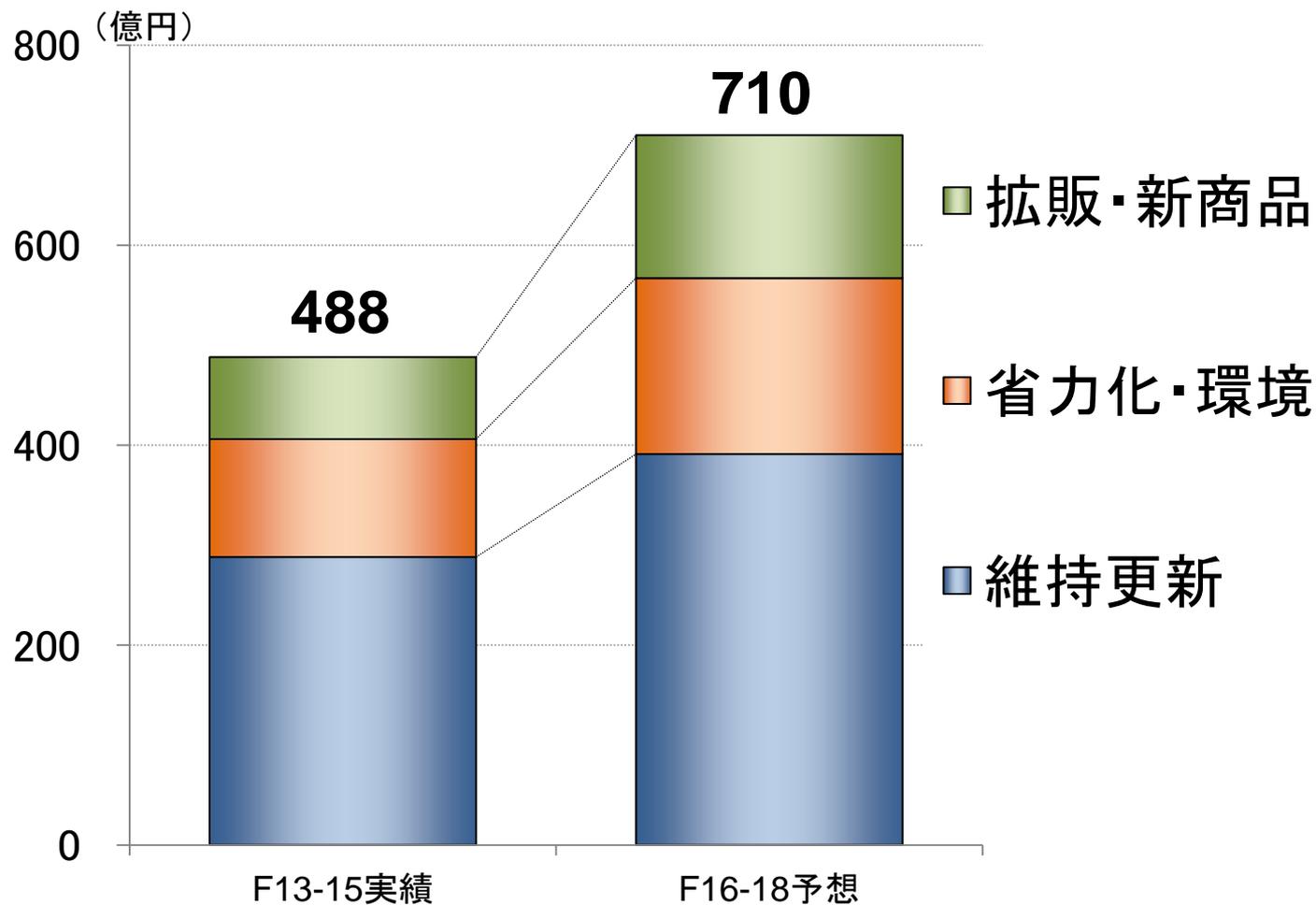
	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 予想	2018年度 中計目標
売上高	4,644	4,484	4,814	5,100	5,000
営業利益	268	302	299	320	320
経常利益	245	263	295	310	310
親会社株主に帰属する 当期純利益	155	195	180	200	200

財務体質改善

	F15 実績	F16 実績	F17 実績	F18 予想	中計 目標 F18
有利子債 (億円)	1,822	1,498	1,400	1,380	1,600
D/E レシオ (倍)	1.4	0.9	0.8	0.7	1.0以下
1株当たり 配当金 (円)	6.0	8.0	8.0	8.0	早期に 7.0以上



積極的な設備投資



創って作って売ってで景観ビジネスの加速化

(株)住軽日軽エンジニアリング(SNE)の子会社化

『SNE営業力・エンジニア力+NLM技術力・開発力』で国土強靱化に対応

SNE社の特長

- アルミ製橋梁用防護柵は国内シェアNo.1
- アルミハニカムを主体とする駅前シェルター製品は国内屈指
- 水門・歩道拡幅工法製品・上下水道施設など幅広い製品を取扱



市場動向

- 橋梁の長寿命化対策としての維持管理需要に高まり
- 駅前広場整備や地下空間の改修案件が増加
- 防災対策関連製品の需要が高まり、陸閘などが堅調

【連結子会社化影響額】

2018年度

売上高 +64億円

営業利益 +10億円

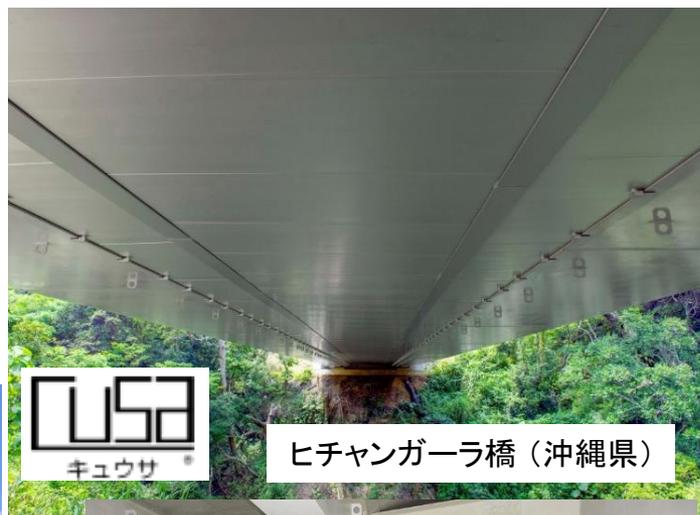
エンジニアリング力でインフラ長寿命化に貢献

高速道路等リニューアルに伴い橋梁メーカーと新領域開拓注力

橋梁検査路

常設足場

残存型枠



頭ヶ島大橋
橋梁検査路
(長崎県)

ヒチャンガーラ橋 (沖縄県)

高速3号線 (広島県)

日本軽金属

住軽日軽エンジニアリング

ヒチャンガーラ橋 (沖縄県)内部

株横河ブリッジ様との 共同開発商品

事業環境変化と市場要求変化に対応

日軽パネルシステム エンジニアリング開発センター

市場

- パネル市場拡大傾向
 - ー ネット通販の拡充、食品工場の物流拠点整備
 - ー フロン排出抑制法を受けた冷蔵設備・倉庫の更新
- 工事付き物件の増加
 - ー 建設業界の深刻な人手不足問題

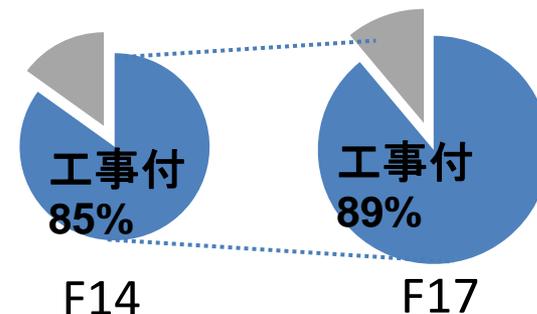
目的

- エンジニアリング機能の拡充
 - ー 工事技能教育による安全性・品質向上
 - ー アフターメンテナンス対応
 - ー 工事機械化の研究・開発
- 商品開発の強化と加速

開設

- 日軽パネルシステム滋賀工場内
- 2020年4月(予定)

売上高構成



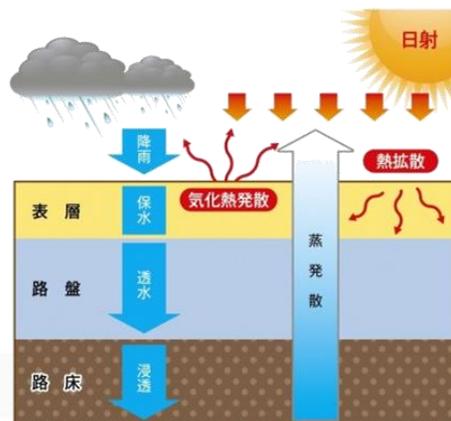
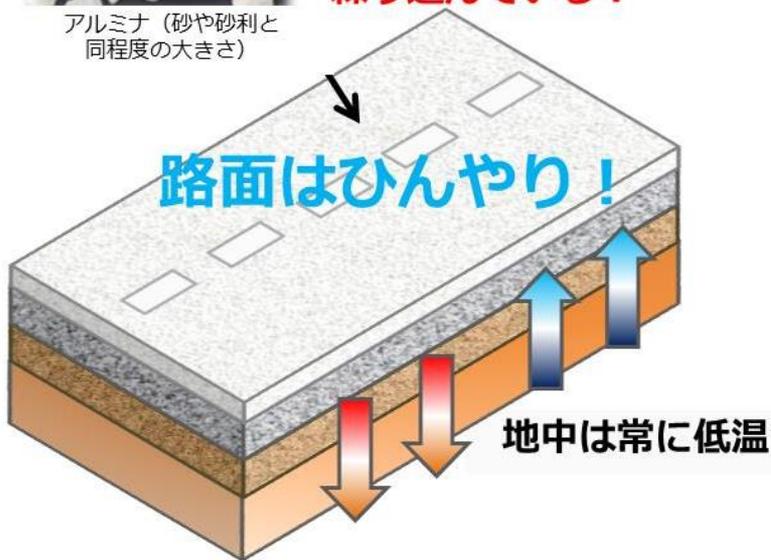
素材の強みをヒートアイランド対策に

放熱効果の高いアルミナを配合の舗装材 静岡市と実証実験中



アルミナ (砂や砂利と同程度の大きさ)

表層の舗装に“アルミナ”を練り込んでいる！



①熱交換

舗装表面の熱は地中(路盤側)へ、さらに地中の熱(低温)を吸い上げる

②冷却効果

舗装表面の保水効果で降雨後の気化熱を発散

晴天時、通常アスファルト舗装に比べ、 10°C 以上の放熱効果を実現

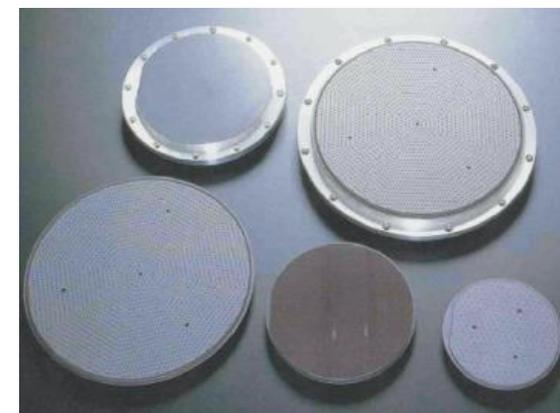


静岡市駿河区の実証実験場(写真は曇天時)

アルミナを高付加価値・ニッチ用途へ

素材の特性を活かせる新たな用途展開

- 概要** 日本軽金属 清水工場 水酸化アルミニウム・アルミナ設備増強
- 市場** 高付加価値品需要拡大
自動車向け電装部材用放熱・難燃フィラー用水酸化アルミニウム
半導体製造装置向けアルミナ
- 稼働** 2019年4月



使用例

LED基板・Lib向け放熱シート、放熱グリース等
半導体製造装置向けエッチング装置、静電チャック等

アルミニウムによる銅代替でメリット最大限

アルミバスバーで大型化・小型化まで対応

日軽ジョイントアルミバスバー



日軽ジョイント

接合面に
塗布



アルミ大型バスバー

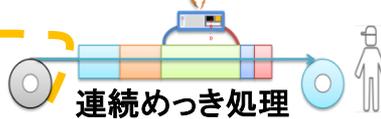
電力系統用大型蓄電池
など重電分野で使用



電力系統用大規模蓄電池システム

アルミめっきバスバー

銅製バスバーのコイルめっき技術をアルミに応用



連続めっき処理



小型サイズ領域で
活躍



アルミコイル



金属加工



アルミ小型バスバー

バッテリーユニット



インバータユニット



HV,PHV,EV,FCV

お客様の省エネ・省スペース・高品質・低コストに貢献

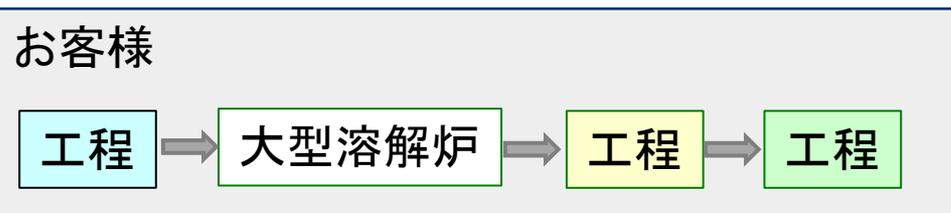
新世代の小型二次合金インゴットを(株)デンソー様に供給



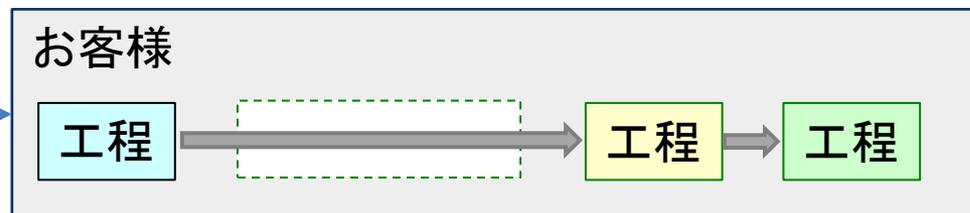
従来品 5.0kg

重量 **1/50**

小型品 0.1kg



ライン短縮と設備小型化でコスト低減に貢献
(株)デンソー様の国内外拠点に展開中



日軽エムシーアルミ

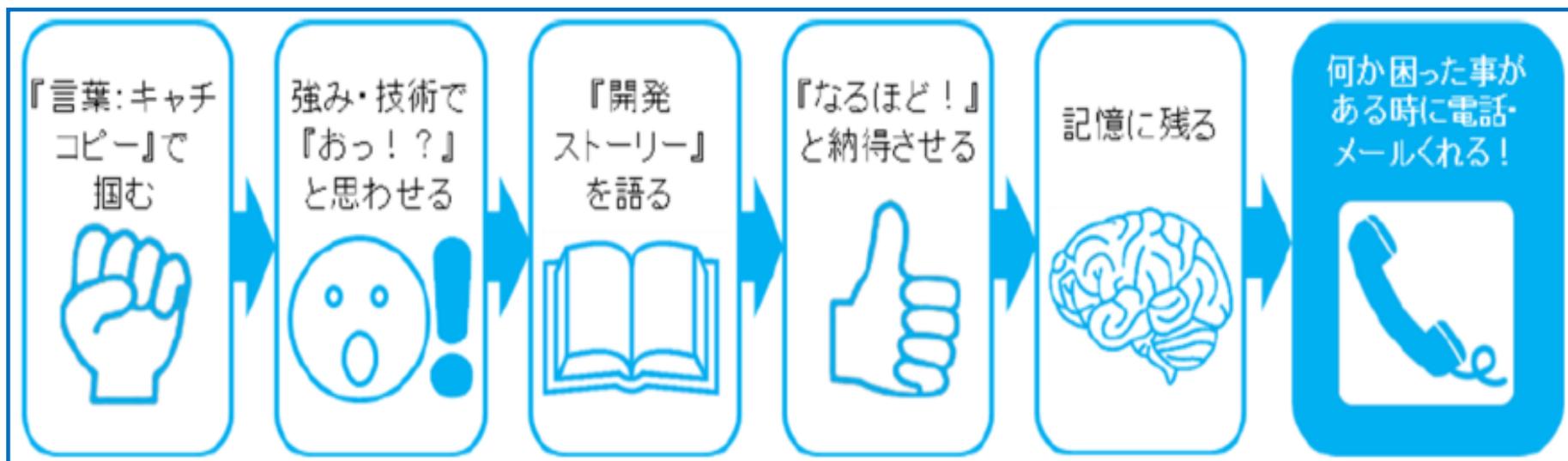
世の中にあるショールームとは一線を画した空間

音をいたずら
しました・・・
ごめんなさい。



世の中にあるショールームとは一線を画した空間

お客様の心を動かす



3ヶ年計画の進捗と次期中期経営計画に向けて

80年目の奇跡・・・本店回帰

2019年下期 本店移転



アーバンネット内幸町ビル
住所：東京都港区新橋一丁目1番13号

お客様にとっての新しい価値を
創造し続ける企業グループへ



昭和14年3月30日、東京都芝区田村町1丁目1番地東電ビル4階 発足
(当地に本店があったのは昭和19年まで)



チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

NLM 日本軽金属ホールディングス

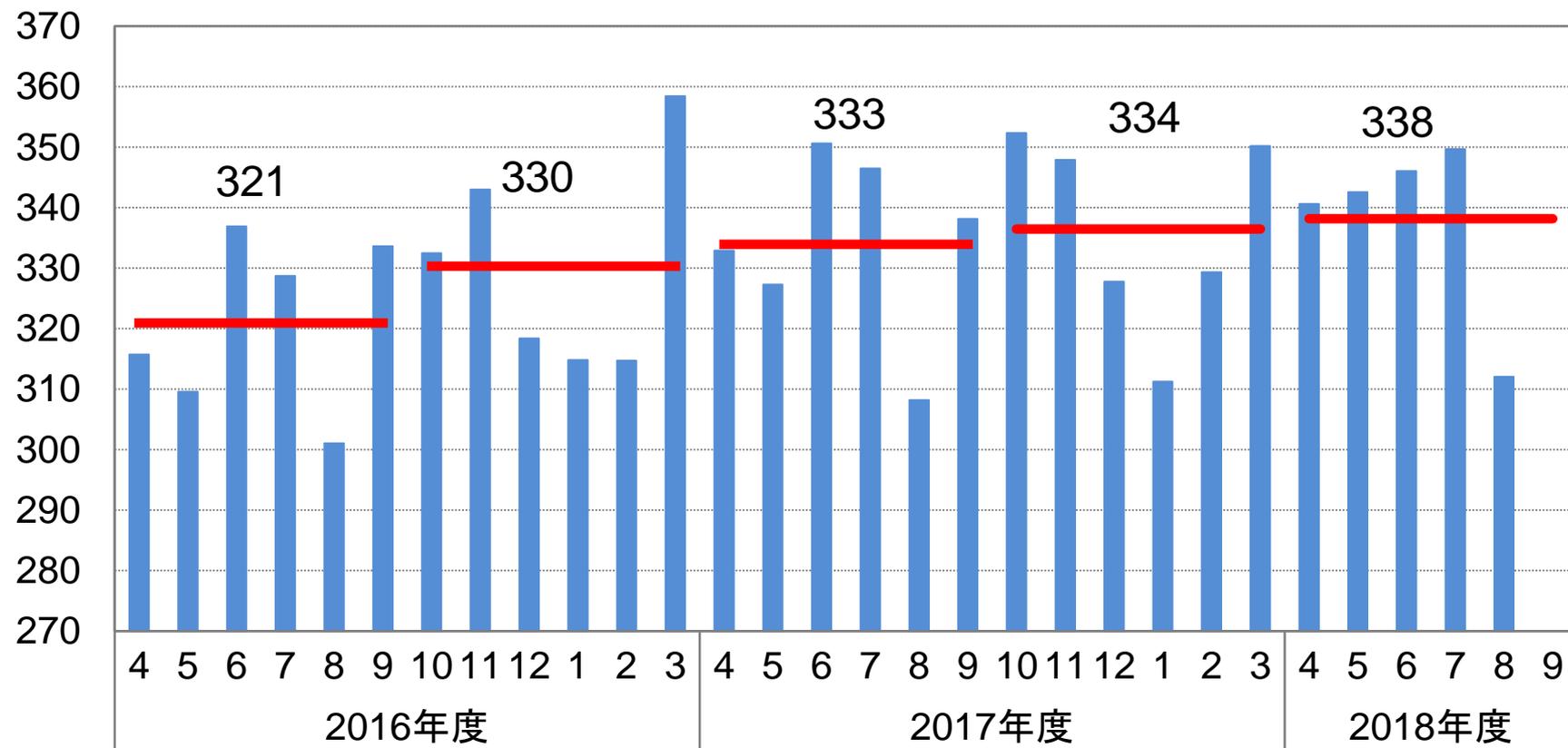
本資料についての注意事項

1. 本資料は2019年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)



<出所:日本アルミニウム協会>

諸元と感応度

	2017年度 実績	2018年度 予想	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	282	290	10円/kg上昇した場合 △5億円/年
為替 (円/米ドル)	111	110	10円円高となった場合 △7億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	56	75	10ドル/BBL上昇した場合 △6億円/年

経常利益

(億円)

	2018/4-9 実績	2017/4-9 実績	前年同期比	2018/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	147	136	+11	140	+7

前年同期比 +11億円 の内訳

営業利益	+1
為替差損益	+2
その他	+8

期初予想比 +7億円 の内訳

営業利益	△8
為替差損益	+3
持分法損益	+3
その他	+9

親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)

	2018/4-9 実績	2017/4-9 実績	前年同期比	2018/4-9 期初予想	期初予想比
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	101	87	+14	90	+11

前年同期比 +14億円 の内訳

経常利益	+11
特別損益	+5
税金費用	△7
少数株主損益	+5

期初予想比 +11億円 の内訳

経常利益	+7
特別損益	+5
税金費用	△7
少数株主損益	+6

主要会社の業績 — 前年同期比

(億円)

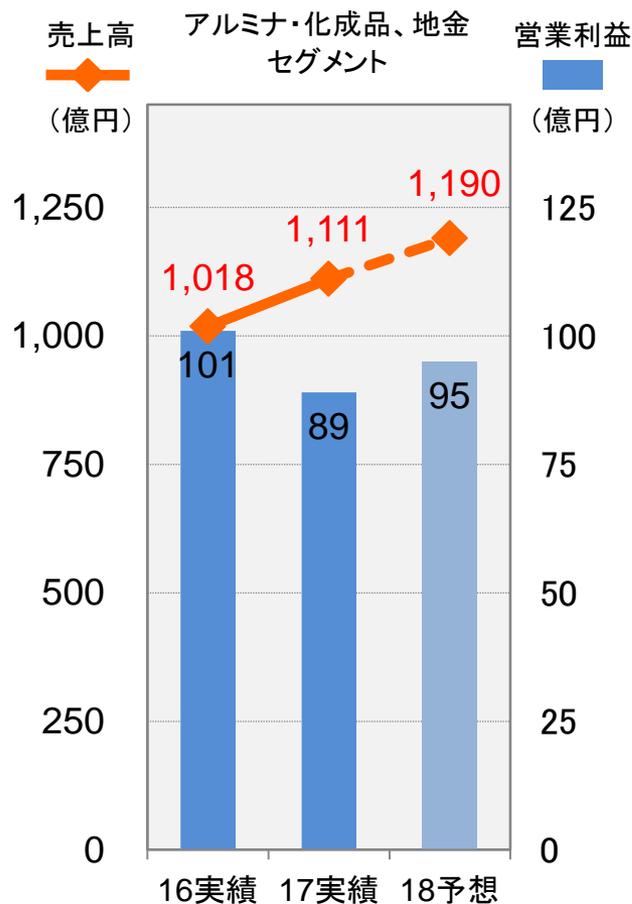
	2018年度第2四半期			2017年度第2四半期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	727	31	68	653	29	63
東洋アルミニウム (連結)	468	18	23	456	21	21
日軽エムシーアルミ (連結)	357	15	16	307	12	12
日本フルハーフ (連結)	361	6	7	348	10	9
日軽金アクト (連結)	230	11	12	219	14	14

セグメント情報 — 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2018年度 予想 (10/30)	2017年度 実績	増減	2018年度 予想 (10/30)	2017年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,190	1,111	+79 (+7.1%)	95	89	+6 (+6.1%)
板、押出製品	1,100	1,069	+31 (+2.8%)	90	98	△8 (△7.9%)
加工製品、 関連事業	1,850	1,690	+160 (+9.5%)	115	98	+17 (+17.6%)
箔、粉末製品	960	944	+16 (+1.7%)	55	49	+6 (+13.3%)
管理・共通	—	—	—	△35	△35	±0
合 計	5,100	4,814	+286 (+5.9%)	320	299	+21 (+7.0%)

アルミナ・化成品、地金

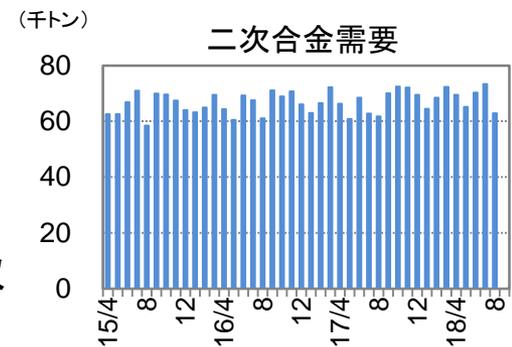


アルミナ・化成品

- 原燃料価格高騰に対して価格改定継続
- 高純度・微粒などのファイン製品向けの需要開拓に注力
- 高付加価値品の拡大
- 新商品開発・新規探索の強化

日軽エムシーアルミ

- 国内は需要の弱いアルミスクラップを活用し、燃料価格の上昇をカバー
- 中国・アメリカは開発合金の拡販
- タイは第2工場の安定操業による収益拡大

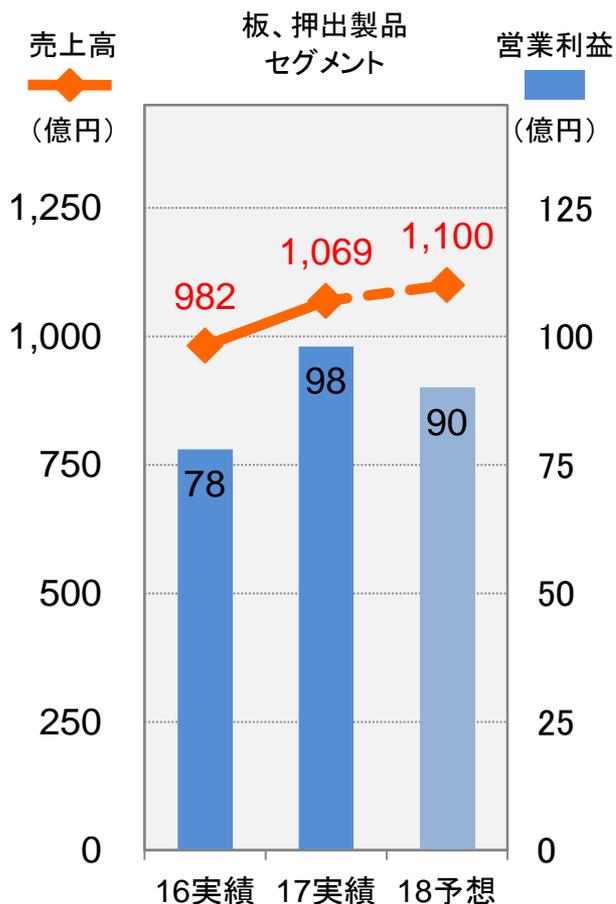


<出所: 日本アルミニウム合金協会>

日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	18年度 上期			18年度 下期			18年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	69.6	69.3	+0%	70.7	69.4	+2%	140.3	138.7	+1%
海外	76.5	71.0	+8%	73.2	72.1	+2%	149.7	143.1	+5%
合計	146.1	140.3	+4%	143.9	141.5	+2%	290.0	281.8	+3%

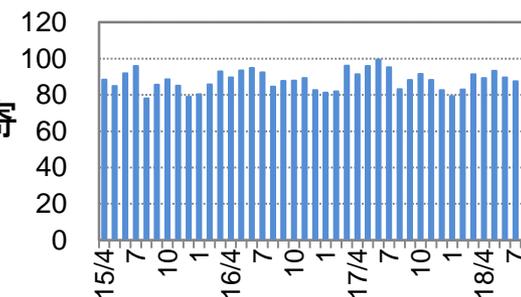
板、押出製品



板

- 電気自動車用部材の拡販
- 高付加価値品の比率上昇で利益寄与
- 価格改定を行うも、原燃料価格の高騰の影響大

(千トン) 板製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

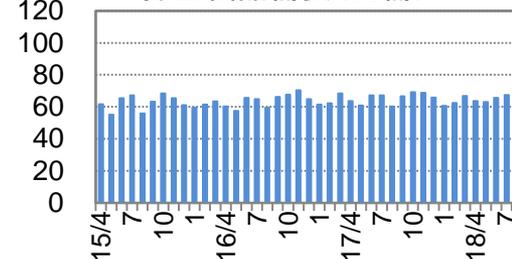
板事業部販売量 (千トン)

	18年度 上期			18年度 下期			18年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		41.7	42.8	△ 3%	44.7	42.4	+5%	86.4	85.2

日軽金アクト

- 輸送分野のトラック架装メーカー向け出荷量減
- 中国での自動車部品は日系・欧米系向けが牽引

(千トン) 押出製品需要(内需)

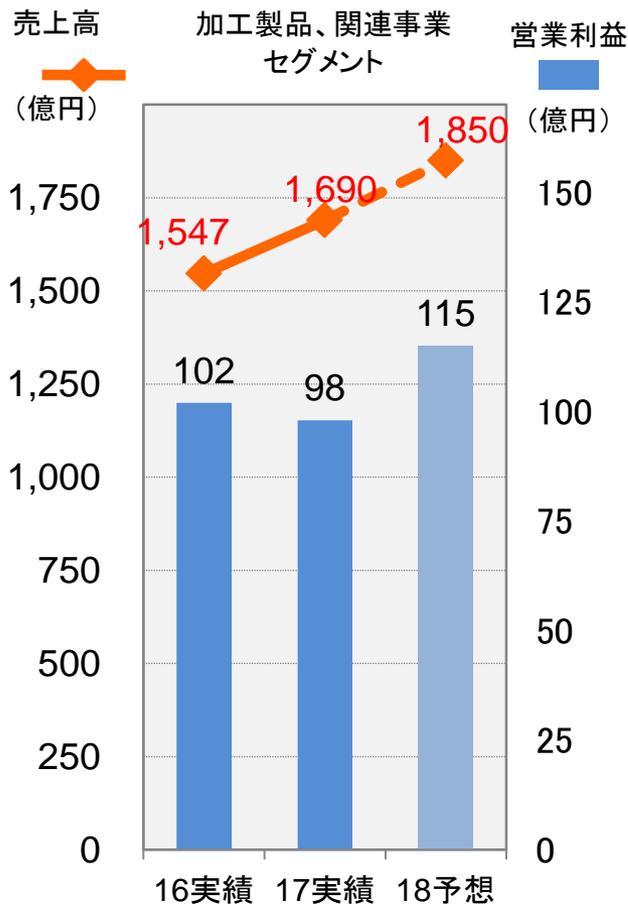


<出所: 日本アルミニウム協会>

日軽金アクト販売量 (千トン)

	18年度 上期			18年度 下期			18年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		19.7	21.1	△ 7%	20.9	22.3	△ 6%	40.6	43.4

加工製品、関連事業



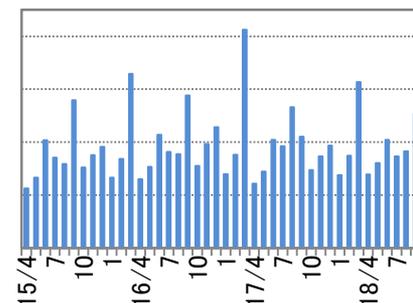
日本フルハーフ

- 国内のトラック需要は前年度並みで推移、市場ボリュームに見合った生産体制の構築
- 厚木工場再構築の完了予定
- サービスビジネス強化により、カスタマーケアの基盤構築促進
- 海外事業の収益改善

日軽パネルシステム

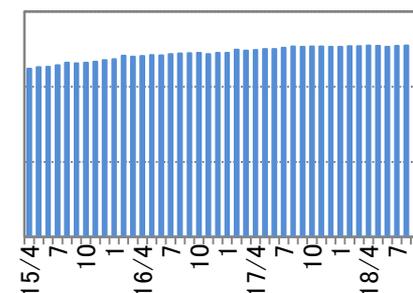
- 食品・流通業界の伸長に伴い安定的な需要が継続
- 湾岸エリアを中心とした老朽化倉庫の建て替え需要
- 医薬・バイオ分野はジェネリック医薬品の増加等を背景としたクリーンルームの需要拡大

(千台) 普通トラック登録台数



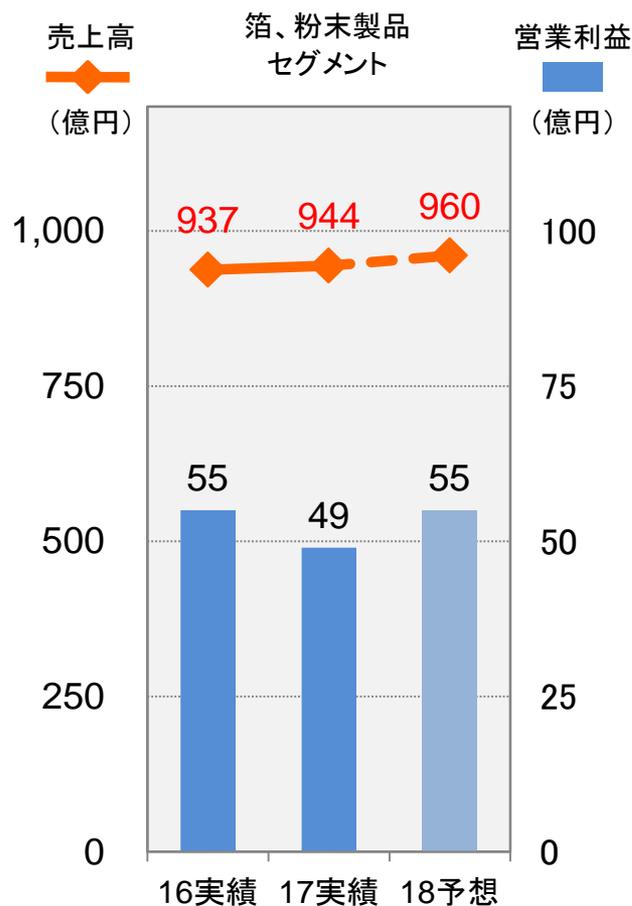
<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(千店) コンビニ店舗数



<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

- 車載向けリチウムイオン電池外装用を中心に拡販
- インドSvam社(医薬用包装材料の製造販売)の株式取得による、グローバル拡販

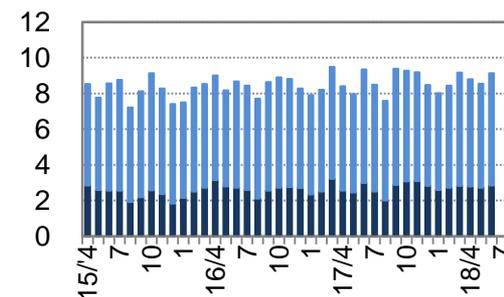
<パウダー・ペースト事業>

- 放熱関連部材として窒化アルミ、電子材アルペーストが伸長

<ソーラー事業>

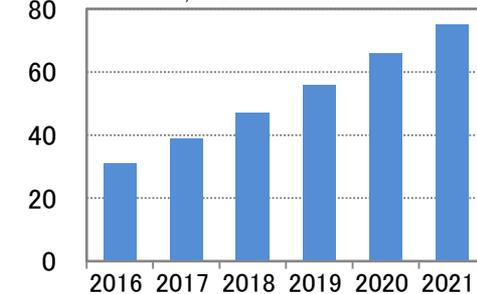
- 中国政府の支援策見直し影響による競争激化に対して、新規製品開発、コストダウンで対応
- アルソーラーは次世代型セル対応インキの拡販

(千トン) 箔製品需要
■ コンデンサ箔 ■ その他の箔



<出所: 日本アルミニウム協会>

太陽電池需要予測
- EPIA, Medium scenario 2017 -



<出所: European Photovoltaic Industry Association>

2018年度 連結業績予想

主要会社の業績

(億円)

	2018年度 予想(10/30)			2018年度 期初予想			2017年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,482	46	81	1,439	46	79	1,392	56	93
東洋アルミニウム (連結)	960	53	60	1,085	59	61	949	49	48
日軽エムシーアルミ (連結)	704	30	30	686	23	24	643	23	24
日本フルーフ (連結)	720	21	22	753	30	30	736	22	23
日軽金アクト (連結)	470	26	28	473	26	28	460	29	30

設備投資・減価償却費 — 前期比

(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2018年度 予想(10/30)	2017年度 実績	差異	2018年度 予想(10/30)	2017年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	98	59	+39	35	39	△4
板、押出製品	50	54	△4	52	52	±0
加工製品、関連事業	77	48	+29	44	40	+4
箔、粉末製品	75	50	+25	40	40	±0
合計	300	211	+89	171	171	±0

第2四半期決算 — 期初予想比

(億円)

	2018/4-9 実績	2018/4-9 期初予想	増減
売上高	2,453	2,500	△47 (△1.9%)
営業利益	142	150	△8 (△5.4%)
経常利益	147	140	+7 (+4.8%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	101	90	+11 (+12.5%)

セグメント情報 — 期初予想比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2018年度 予想 (10/30)	2018年度 期初予想	増減	2018年度 予想 (10/30)	2018年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,190	1,150	+40 (+3.5%)	95	90	+5 (+5.6%)
板、押出製品	1,100	1,120	△20 (△1.8%)	90	100	△10 (△10.0%)
加工製品、 関連事業	1,850	1,760	+90 (+5.1%)	115	105	+10 (+9.5%)
箔、粉末製品	960	1,070	△110 (△10.3%)	55	60	△5 (△8.3%)
管理・共通	—	—	—	△35	△35	±0
合 計	5,100	5,100	±0 (±0%)	320	320	±0 (±0%)

設備投資・減価償却費 一期初予想比

(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2018年度 予想(10/30)	2018年度 期初予想	差異	2018年度 予想(10/30)	2018年度 期初予想	差異
アルミナ・化成品、地金	98	96	+2	35	38	△3
板、押出製品	50	50	±0	52	53	△1
加工製品、関連事業	77	72	+5	44	40	+4
箔、粉末製品	75	82	△7	40	40	±0
合計	300	300	±0	171	171	±0